

議会改革特別委員会 視察報告書

【視 察 日】令和 5 年 10 月 18 日（水）～19 日（木）

【視察委員】岡村 好男委員長、大石 保幸副委員長、石井 通春委員、
鈴木 岳幸委員、神戸 好伸委員、多田 晃委員、植田 裕明委員、

【視 察 先】（1）山形県米沢市 （2）栃木県宇都宮市

【調査事項】米 沢 市：議会改革への取組みについて
（議会改革度調査 2022 ランキング上位の取組内容等について、
議員報酬の見直しについて）

宇都宮市：議会改革への取組みについて

（議会改革度調査 2022 ランキング上位の取組内容について）

【米沢市議会】

(1) 市の概要

米沢市は、明治 22 年に日本で最初に市制を施行した全国の 39 市の中の 1 市であり、平成 31 年に市制 130 年を迎えた。本市の約 3 倍に及ぶ 549 ㎢という広大な面積に 78,467 人（R5. 9. 1 現在）の人口という自然豊かな市であり、2021 年 4 月に新庁舎が完成した。



(2) 政策提言について

各常任委員会でテーマを決め政策課題の検討を行い、市民との意見交換会での意見も踏まえて、2 年の任期中で政策提言を取りまとめ、執行部に提出している。令和 5 年より政策提言に対し執行部からのフィードバックを行っている。

(3) 議員定数・議員報酬等について

議長の諮問機関として平成 27 年 6 月に設置された「議員定数・報酬検討委員会」は、合計 35 回の委員会を開催し、1 年 8 カ月をかけて、定数、報酬、政務活動費を合わせて研究・議論し、独自の報酬算出の「米沢方式」を確立したことなどは注目すべき点である。協議過程の中で、山形大学の是川教授の講演や助言、市民との意見交換の場を設けるなど、丁寧な取組について高く評価する。

(4) 予算特別委員会について

正副議長以外の全議員が委員となっており、通告制などの独自のルールを取り入れ全委員で審査を行っている。また、補正予算については予算特別委員会でのみの審査である。

(5) 新庁舎建設における議会での関わりについて

議員による特別委員会の設置はなかったが、概括的な事柄に関し議会から意見を提出した。議場については、本会議場と委員会室の一体使用が可能であったり、対面式の議場配置や質問席を設けるなど、議員の声が多く反映されており、コンパクトで利便性のあるレイアウトになっている。本市の新庁舎建設についても、全議員で討議をしていきたい。

【宇都宮市議会】

(1) 市の概要

宇都宮市は、本市の約2倍の面積 417 km²に 513,435 人（R5.9.1 現在）が住む、栃木県の政治・経済・文化の中心地である。2023 年 8 月に全線路新設として全国初の「LRT（次世代型路面電車システム）」が開業し、全国から注目を浴びている。



(2) 政策討論の実施

宇都宮市議会では、議員相互の合意形成、資質の向上のため、各常任委員会での議員間による政策討論を実施している。委員会ごとに討論テーマを決め、各委員による積極的な情報収集や委員間の自由討議のほか、必要に応じ、視察や、執行部や有識者からの意見聴取など、積極的な活動が行われている。成果を求めるものではないため提言などは行わないが、執行部への意見等の提供の実績や、議員各自が一般質問へ活用するなどの効果が表れている。

この活発な政策討論が提言などに生かされないのは残念に感じるが、議員の資質向上を目的とするのであれば、宇都宮市議会のような形は、本市でも検討しやすい。

(3) 議会制度検討会議の設置

議長の諮問機関として「議会制度検討会議」を設置し、議会制度の見直しについて調査・検討を行っており、1 回につき約 3 年の期間で平成 19 年度から、これまで 3 回設置され、月 2 回程度会議を開催している。必要に応じ、その他の委員会に検討を依頼し、調査結果をフィードバックしてもらっている。各会派から提案された多岐にわたる項目を検討することで、市議会の取組みを網羅した議会改革の一体的な推進が図られており、運用に向け会派間の調整も円滑に進められる効果がある。

(4) 市議会広報番組について

栃木県出身のタレントを起用し、「サクサク！うつのみや市議会」というテレビを活用しての広報活動を行っている。市議会に関して市民にインタビューを行うなど、市民に身近な番組となっており、議会や議員の活動について、より広く分かりやすい周知に力を入れている。

議会活動を市民に発信するという点では、現在本市で発信している SNS の活用方法の参考としたい。

(5) 決算審査特別委員会の審査方法について

決算審査は、「決算審査特別委員会」と「企業会計決算審査特別委員会」の 2 つの委員会を設置し、それぞれ 11 名の委員により同時進行で 5 日間での審査を行っており、企業会計（水道・下水道、中央卸売市場）にしばっての審査方法は特徴的である。一方、予算審査は、予算委員会は設置せず、本会議から所管の 5 つの常任委員会での分割付託方式を行っている。

決算や予算の審査方法などは議員数とも関係してくるため、その議会にとって一番ベストな審査方法をどう確立していくかが課題である。